

平成25年度決算報告

平成25年度の大豊町の決算について報告します。
皆さんの納めた税金が、1年間でのように使われたか、確かめてみましょう。

一般会計（教育や福祉、道路整備など行政の基本的な会計）

歳入 58億5,844万円 —平成24年度47億4,243万円 対前年度比+11億1,601万円 歳出 56億8,958万円 —平成24年度45億6,914万円 対前年度比+11億2,044万円 私たちの生活に 置き換えると…	町税	使用料・手数料 財産収入など	地方交付税など			国・県補助金など			町債
	6.1% 3億5,772万円	11.3% 6億6,416万円	44.2% 25億8,602万円			31.9% 18億6,744万円			6.5% 3億8,310万円
	☆年収 自分たちで賄えるお金		☆親からの仕送り 全国どこに住んでいても暮らすことができるようにするためのお金			国・県から目的に対して補助されたお金			☆ローン 国や銀行からの借入
人件費		物件費	扶助費	公債費	補助費など	繰出金	積立金	建設事業(災害含む)・ 維持修繕費	次期繰越金
14.2% 8億1,080万円		10.2% 5億7,945万円	4.2% 2億3,721万円	17.9% 10億1,956万円	9.8% 5億5,673万円	8.5% 4億8,251万円	4.8% 2億7,089万円	30.4% 17億3,243万円	
☆食費 (議員報酬や職員給与・手当など)		☆光熱費 (消耗品・ 光熱水費など)	☆医療費等	☆ローンの返済	☆町内会費 (嶺北広域行政事務組合 負担金・出資金など)	☆仕送り (特別会計への繰出金等 ※後期高齢者医療負担金含む)	☆預貯金 (基金積立)	☆車の購入費・家の修繕費 (道路・給水施設・建物などの整備)	

(平成25年度 地方財政状況調査より)



平成25年度決算に見る台所事情

歳入を見てみると、町税や財産収入など町が独自で確保できた財源は、全体の約17%で、残りは全て国や県からの仕送りと町債(ローン)となっています。
なかでも歳入全体の約45%を占める「地方交付税」は、配分の基準となる人口が減少しているため、今後の増加は期待できず厳しい状況が予想されます。
歳出を見てみると、過去に行った建設事業などのローン返済である公債費が歳出全体の約18%を占めています。
普通建設事業では、木材加工流通施設等整備事業に係る補助事業(繰越事業)が大きく、また、24年度の国の補正予算による町道舗装修繕工事(繰越事業)、県補助事業による簡易給水施設整備工事などを行ったため、前年度決算から11億2,000万円の増となり、歳出全体の約30%となっています。
この結果、町の台所事情は年収の約4倍の親からの仕送りで1年間の生活を賄っていることとなります。



積立基金(町の預貯金等)残高

財政調整基金	6億1,482万円
減債基金	7億3,000万円
財政健全化基金	6億3,241万円
福祉基金など	9億6,493万円
計	29億4,216万円

※定額運用基金や特別会計の基金は
含みません。
(平成26年5月31日現在)



平成25年度の主な事業 (24年度からの繰越事業含む)

木材加工流通施設等整備事業(繰越)	11億5,000万円
町道舗装修繕工事(繰越)	1億527万円
簡易給水施設整備工事	7,447万円
がけくずれ住家防災対策事業	5,375万円

健全化判断比率（財政の健全度）

健全化判断比率	大豊町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%	30.00%
実質公債費比率	14.5%	25.00%	30.00%
将来負担比率	—	350.00%	

☆—は、算定の結果「実質赤字がない」ことを表しています。

資金不足率	大豊町	早期健全化基準	財政再生基準
簡易水道事業 特別会計	—	20.00%	

☆—は、算定の結果「資金不足がない」ことを表しています。

- 一般会計の赤字額の程度を表しています。
- 全会計の赤字額の程度を表しています。
- 町が返済した借金の返済率を表しています。
- 町が将来負担する可能性がある実質的な負債が、どのくらいあるかを表しています。

→ 企業会計の悪化の度合いを表しています。

特別会計（特定の収入でその支出が賄えるもの）

会計名	歳入	歳出	歳入のうち 一般会計からの繰入金
国民健康保険	7億4,685万円	7億4,596万円	6,374万円
簡易水道事業	1億2,592万円	1億947万円	6,650万円
介護保険	6億5,904万円	6億2,686万円	1億1,134万円
後期高齢者医療	9,739万円	9,702万円	4,656万円
計	16億2,920万円	15億7,931万円	2億8,814万円

☆特別会計の収入源である保険料や使用料が足りない場合、公益性を維持するために、一般会計から補てんして不足分を賄います。平成25年度は、4会計合わせて約3億円を繰り入れました。